

事業概要

デジタルツールを駆使した公教育授業 (小学算数)の生産性向上+協働学習 (×静岡県袋井市教育委員会)

公教育(袋井市立三川小学校の約40人)を対象に、以下の3つのEdTechを活用した新しいスタイルの授業(未来の学び方)を一台/人のタブレット環境で、実践します。

- ① デジタル教科書ツールを活用した基礎を効率的に学び、発展的な学習時間を生み出すプログラム
- ② デジタル思考ツールを活用した思考を深めるプログラム
- ③ 学校と地元企業をつなぎ、本物に触れるプログラム

※知のナビゲーターを含む

進捗状況と今後の展望

■各月の進捗状況：

7月

- アダプティブツールの活用で学習効率化
 - レクチャー機能要件定義
- 思考ツールを活用した学習プログラム
 - 実施プラン検討

8月

- ①アダプティブツールの活用で学習効率化
 - 教科書会社(学校図書)とのサービス要件定義
 - 開発会社との仕様策定
 - 実証校へのツール導入準備
- ②思考ツールの活用した学習プラン開発
 - 実証校へのツール導入準備

9月

- ①アダプティブツールの活用で学習効率化
 - 教科書会社(学校図書)とのシナリオ策定
 - 開発会社と構築環境(サーバ仕様)の策定
 - 教員向け導入研修の実施
 - 児童向け導入研修の実施
- ②思考ツールの活用した学習プラン開発
 - 教員向け導入研修の実施
 - 児童向け導入研修の実施

10月

- アダプティブツールの活用で学習効率化
 - 教科書会社(学校図書)とのシナリオ策定
 - レクチャー機能仕様策定
 - 効果測定内容協議(東京大学)
- 思考ツールを活用した学習プログラム
 - 実践校視察(京都教育大付属桃山小学校)
- 学校と地元企業をつなぎ、本物に触れるプログラム
 - 企業連携案策定
 - 企業連携案すり合わせ(袋井市)

■今後の展望：

11月-12月

- アダプティブツールの活用で学習効率化
 - レクチャー機能付きアダプティブツールのプロト版の開発
- 思考ツールを活用した学習プログラム
 - 学習プログラムの検討
- 学校と地元企業をつなぎ、本物に触れるプログラム
 - 企業連携実現案検討

1月-2月

- アダプティブツールの活用で学習効率化
 - プロト版での実践
- 思考ツールを活用した学習プログラム
 - 学習プログラムの実践
- 学校と地元企業をつなぎ、本物に触れるプログラム
 - 企業連携実現案策定 ※次年度ご提案

参考①) 凸版印刷株式会社

■袋井市総合教育会議（8月2日）

袋井市役所で開催された総合教育会議において、実証校（袋井市立三川小学校）で活用するEdTechのデモンストレーションを行いました。

LoiLoからは杉山副社長・野中さんからロイロノート、学校図書からは川口さんがデジタル教科書を、凸版印刷からは岡田さんがやるKeyをそれぞれデモンストレーションを交えての説明を実施。

■教員向け研修会（9月5日）の風景

LoiLoからは澁谷さんに参加頂きロイロノートによる協働学習、凸版印刷からは本事業でも新しい教材の開発に深く関わる一ノ宮さんに参加頂きやるKeyによる個別学習で凸版印刷が考える『未来の学び方』の一端に触れて頂きました。

■児童向け説明会（9月7日）の風景

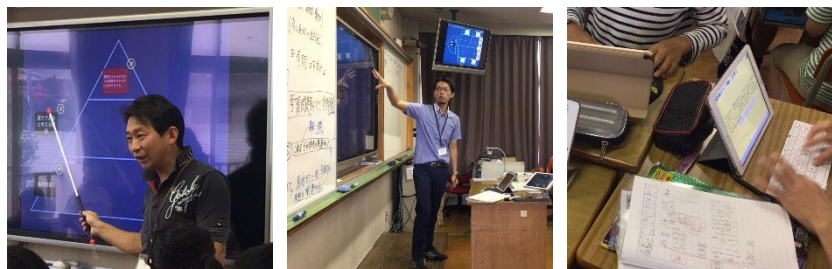
本事業でEdTechを活用する5年生の児童がこれらのツールの説明会を受け、3学期から始まる新しい学びに向けた活用が開始されました。



参考②) 凸版印刷株式会社

■京都教育大付属桃山小学校訪問 (10月5日)

関西大学黒上先生監修によるデジタル思考ツールを実践の場で活用する京都教育大付属桃山小学校を訪問し、本事業についての支援を頂くと共に、第一線で活躍する木村先生、長野先生の授業を視察し、授業設計で大事にしているところ、EdTech活用の工夫についてお伺いし、本事業でも積極的に取り入れたいと思います。



■小金井市立前原小学校訪問 (10月17日)

総務省『次世代ICT環境』事業で公立学校での新しい学びの実践にチャレンジする小金井市立前原小学校で中間成果発表会があり、袋井市様と視察しました。従来の授業にEdTechをAdd Onで活用するのではなく、授業の中心にEdTechを置いた授業創りの実践から学んだ事を、是非本事業の実践で活用していきたいと思います。



■仕様検討打ち合わせ

今回新たに開発する独習を可能とするレクチャー機能の肝となる中身について、学校図書工藤さんと、本事業のプロジェクトマネージャーでもある藤田さんをはじめ、丸山さん、一ノ宮さんと、定期的にシナリオ策定の為の協議を行いました。



また、シナリオについて、実際の公立学校での実践についての調整を、袋井市教育委員会学校教育課 太田主幹様とも実施しました。



このようにして、3学期から実際の授業の中で、実践する中身について日々検討・協議を繰り返して概ねプロト版の仕様について固まって参りました。

■効果測定打ち合わせ

東京大学遠藤先生と本事業における非認知能力の測定デザインについての打ち合わせも実施し、現在調査票の精査を実施しております。